

かしま 議会だより

第67号

■発行 佐賀県鹿島市議会 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314
■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 鹿島印刷株式会社

平成24年1月



平成24年鹿島消防団出初め式



平成24年鹿島市成人式

今回の記事・企画

11月臨時会・12月定例会日程と議案	2～3P
議案審議	4～5P
一般質問	5～9P
討論	9～10P
議会報告会	10P
委員会報告・議長交際費	11～13P
議会あれこれ・編集後記	14P

- (2) 議案第42号 平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- (3) 議案第43号 平成22年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
- (4) 議案第44号 平成22年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- (5) 議案第45号 平成22年度鹿島市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
- (6) 議案第46号 平成22年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- (7) 議案第47号 平成22年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
- (8) 議案第50号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
- (9) 議案第51号 鹿島市税条例等の一部を改正する条例について
- (10) 議案第52号 鹿島市スポーツ振興審議会条例及び鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- (11) 議案第53号 鹿島市乳幼児及び児童の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- (12) 議案第54号 平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
- (13) 議案第55号 平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
- (14) 議案第56号 平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- (15) 議案第57号 平成23年度鹿島市水道事業会計補正予算(第1号)について
- (16) 議案第58号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- (17) 議案第59号 鹿島市自然の館の指定管理者の指定について
- (18) 議案第60号 鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- (19) 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- (20) 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について
- (21) 報告第10号 専決処分事項の報告について
- 議員提案議案等
- (1) 意見書第6号 APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書

次のことを審議し決定しました

【11月臨時会】

議案第49号 鹿島市職員給与と条例等の一部を改正する条例について

【12月定例会】

議案第41号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第42号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第43号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第44号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第45号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
議案第46号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第47号	(継続審査議案)平成22年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
議案第50号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第51号	鹿島市税条例等の一部を改正する条例について
議案第52号	鹿島市スポーツ振興審議会条例及び鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正
議案第53号	鹿島市乳幼児及び児童の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
議案第54号	平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
議案第55号	平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
議案第56号	平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
議案第57号	平成23年度鹿島市水道事業会計補正予算(第1号)について
議案第58号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
議案第59号	鹿島市自然の館の指定管理者の指定について
議案第60号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
意見書第6号	APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書

議案 案審議

議案第54号

住宅リフォームへの補助金について

竹下 勇議員

質問 住宅リフォームへの補助金は、9月に続き2度目の補正となるが、事業費がなくなったのか、また、その経済効果についてお尋ねしたい。

答弁 予算全額の受付が終了し、補正予算が通過したら、申請を受け付ける予定。受注関係は、申請者数が2333件、請負業者数68社、工事総額は、3億1,900万となっている。

議案第54号

スポーツ合宿誘致事業交付金について

稲富雅和議員

質問 鹿島市スポーツ合宿誘致事業交付金、今後の計画は。

答弁 今交渉中だが、大学2校が箱根駅伝が終わってから来られる予定。市からは、20人以上、市に泊まる、5泊以上。大学からは栄養管理が1番で、1日3回走った後に入浴をした要望がある。大きい予算



議案第54号

TPP対策支援について

中村一堯議員

質問 農林水産の補正予算で赤潮対策費に予算を取っていますが、TPPに対する財政支援は鹿島市として考えていないのか？TPP参加が始まる前から、影響を受ける産業に対して、財政支援、または予算を早急につけてほしい。

答弁 TPPへの対策として県内で初めて「TPP対策連絡会議室」を鹿島市に設置した。その会議の中で、TPPの情報収集や関税撤廃によって影響を受ける産業に対しての対策を考えていく。また、今後の動きを注意して見ながら、TPPに対する財政支援もお願いしていく。

議案第54号

鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会負担金について

角田一美議員

質問 鹿島市は多彩な自然をはじめ歴史的文化的観光資源を豊富に持ちながら十分に活かされていない。

答弁 第1回鹿島酒蔵ツーリズムとして、三月二十四日、二十五日の2日間、肥前浜宿の「花と酒まつり」に合わせて、酒蔵6蔵をめぐるツアーを計画しており、中心市街地でも「発酵まつり」「街なか博物館事業」なども同時開催したい。この時期は桜が咲き誇る季節であり、酒蔵ツーリズムを大いに盛り上げ、鹿島市を大いにPRしたいと考えている。

議案第54号

酒蔵ツーリズム推進協議会発足について

伊東 茂議員

質問 IWCチャンピオンサケ受賞を契機に発足した協議会は鹿島の銘酒PRと共に酒蔵めぐりなど、新たな観光資源として期待がかかる。このチャンスを逃さず観光客誘致に繋がる事業展開を進めて欲しい。今後の観光戦略と県からの支援について質問します。

答弁 鹿島の観光を念頭に本市に代表される祐徳稲荷神社や来年開催される伊能忠敬来鹿200年祭。又、地元の観光資源との連携を含め今後どのように推進していくか検討する。連絡協議会には毎回、県観光課・流通課も参加し協力体制にある。

議案第54号

鹿島市スポーツ合宿誘致事業について

橋川 宏彰議員

質問 鹿島市スポーツ合宿誘致事業で箱根駅伝出場校二校を誘致されるがサガン鳥栖も今回J1に昇格し機運が盛りあがっている。市にも県一のクラブチームがあるし子供達のサッカー人口は多い。十年程前サガン鳥栖は一週間鹿島で練習した事もあって良いサッカー場だとほめておられた。誘致する考えはないか。

答弁 具体的な考えは持っていないが、良い施設を持っていると思うのでこれから検討をしていきたい。



議案第54号

平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)

松本末治議員

質問 保健体育費で「母ケ浦運動広場フェンス修繕ほか」とあるが同広場はドクターヘリポートであり施設整備の範囲は市となされるか?又、鹿島市スポーツ合宿誘致事業交付金が上がっているが競技場の照明及びクロカコンコース整備について問う。

議案第54号

平成23年度鹿島市一般会計補正予算について

水頭喜弘議員

質問 高齢社会が進んでいく中で独居老人、身障者の方々がごみステーションまで持つていくことが困難な方への対策は。
答弁 市内に結構数がある。行政としてどのようなサービスがあるのか今後検討していきたい。



議案第54号

農商工連携事業の推進について

橋川 敏議員

質問 農商工連携事業費が計上されているが、その内容と鹿島市の今後の取り組みは。

答弁 農商工連携先進事例の視察等の旅費を計上している。農商工等連携促進法の認定を受けると、補助や融資等の支援策がある。全国で四三四件、県内で五件が認定され、市内では認定に向けての動きがあつている。今後の取り組みとしては、地元にはどのようなニーズがあるのかを整理したうえで売り込みにかかつていく、言わば探検隊として出かけていき種をもつて帰ってくるということである。又、農林水産省の予算をうまく活用し、鹿島市の第一次産業の振興を図っていく。

※シーズ(SEEDS)
顧客のニーズ(NEEDS)に対して、企業が新しく開発、提供する特別の技術や材料のこと。新製品の開発では、ニーズとシーズのバランスが重要となる。



海童保育園、共生保育園の幼年消防クラブ

一般質問

簡易型舟券売り場の誘致について「オラレ」



橋川 宏彰議員

質問 鹿島市の活性化、交流人口の増加、自主財源確保の為に誘致に向けて市にはある程度主導してもらい今後市民と市の協議の場などを設置し検討が必要だと思いがその様な考えは。

答弁 市にはパチンコ店が多くギャンブルの街と言われている。又、市民の機運も高まつていない。街自体もそんなに寂れていない。街に元気がなくなつた時に考える。しかし市民の機運が高まつていけば協力する事は惜しまない。

荒廃地対策について

質問 耕作放棄地の中で九割以上を占めるみかん園等の対策は、面積も大で中々対策も進まないのが実態では。この際広葉樹の植林などで山林に戻す事も施策として必要では。又、転用手続きがされていない荒廃農地の固定資産税は樹園地や田、畑としての課税なのか、私は現況の状態で課税するのが原則と思うが。

答弁 現在では転用の手続きは特定な場合を除き困難である。県とも相談をしてみる。課税は現在登記してある地目で課税をしている。

議案 案 審 議

一般質問

一般質問

「不登校児への適切なケアと未然防止策」について



伊東 茂議員

質問一 義務教育の期間

に基礎的理解力や公正な判断力を養い心身共に健やかに有意義に過ごすとして欲しいと念じています。しかし、自分の意思で登校出来ない子供と親への配慮や心理相談は十分なのか。進学時など環境が変わる時期に増える不登校児を防ぐための小中学校への指導は行なわれているか。

答弁 学校と家庭が連携し教育相談や家庭訪問、学習指導を行なっている。心理相談員や学習指導員を増員し小中学校に配置している。保護者への居場所づくりとして親の会を設置し相談を受けている。小中連絡会議で防止対策の強化を図っている。

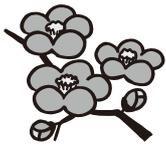
一次産業の厳しい現状への支援について

質問一

秋口出荷された早生みかんの(日焼け)被害は700t以上、秋芽のりの(赤腐れ病)被害拡大は深刻で例年の3〜4割程度の販売額である。本市の支援策と一次産業への農業労働力支援、浜川河口の堆積した中洲除去の漁環境整備の進捗状況は。

答弁

現時点では果樹共済、漁業共済での補填となる。本市独自の支援は状況を見極め今後検討を行なう。地域人材育成事業、鹿島アグリヘルパー事業は好評であり来年も継続する。浜川河口の中洲除去は県の調査が行なわれ協議中である。



七億円の経済効果について



松尾 征子議員

質問一

全県に先駆け取り組んだ住宅リフォーム助成制度。大きな成果を生んだと思う。事業の結果をどの様に評価しているのか。

答弁

14日までに325件。総工費で四億円となっている。効果は11月10日まで233件。あらゆる業種にわたっている。市民はユニバーサル、下水道接続、浄化槽や太陽光発電設置、畳替え等一般リフォームが取り組まれている。当初の目的で住宅性能の向上、経済の活性化につながるがと思う。県が示す経済効果1.74倍から見れば、工事総額四億円は七億円の経済効果があるのではないかと思う。

災害後の受入れ態勢を

質問二

火災等災害発生後、被災者の行く場所がない。市は被災者が一時生活出来る所を準備すべきだ。市営住宅の一室をとということもある。西峰団地には県の職員住宅が永い間放置されている。「空いているのに借りられないの」という声もある。県へ要求して利用出来るように。

答弁

被災者の受入れについて県と協議したわけではないが、県と総務課、まちなみ建設課とどのような事が可能かどうか協議してみたい。



平成24年鹿島市成人式

行政評価への取り組みについて



福井 正議員

質問一

行政評価は、平成13年頃から、都道府県、市町村で始まり、22年度現在46都道府県、政令指定都市18、市町村868団体が取り組んでいる。行政評価の役割は、「事業のチェックと見直し」「効率的な資源配分」「客観的情報、データに基づく判断、選択、配分」が出来る。「結果プロセスを公開することで行政に対する信頼を得る」「職員の意識改革が出来る」「組織改革と経営戦略策定が出来る」等があるが、鹿島市の現在の取り組みは。

答弁

総合計画の主要事業事業評価表を事業ごとに毎年作成し、達成度と進捗状況を把握・検証するようになっている。

産業活性化への取り組みについて

質問二

3月11日の東日本大震災での部品不足による生産停滞や円高による業績不振の影響で千葉県茂原市や北九州市で、大企業の工場が撤退している状況がある。鹿島の輸出割合が多い企業も苦しんでおられる状況がある。

答弁

鹿島市として、これらの企業に対し、なんらかの支援が出来ないか。たとえば技術向上の研修への助成など。

答弁

現在商工会議所を通じて溶接等の研修会に計60万円の研修助成を行っている。



イノシシ被害対策について



稲富雅和議員

質問一 新たな取り組みとして、九州大学との共同研究を立ち上げられたわけですが、具体的にはどのような事業なのかお伺いいたします。

答弁 電気牧柵やワイヤーメッシュを使った防御方法や耕作放棄地を解消する対策など総合的な研究、赤外線カメラやビデオカメラを設置してイノシシの行動の様子を観察している状況である。そして、イノシシを捕獲してGPS装置をイノシシに設置して生態を研究するなどの計画がある。



道を新たなまちづくりの資源に

質問一 情報誌の中に観光需要につなげようと、歩いて楽しい、走って気持ちいい、自転車に乗って心地よい道に名前を付けて応募するという記事があつて、鹿島も応募が必要だがまちづくりに活かせるのではないかと提案したい。

答弁 祐徳ロードレースやクロカンフェスタなど大会に加えて豊かな自然に囲まれたスポーツ施設を有効に活用したまちづくりを検討している。今後も環境省の取り組みについて周知をして、市をあげてのスポーツ資源を活かしたまちづくりの取り組みに繋げたい。

介護保険制度について



勝屋弘貞議員

質問一 介護保険制度の改正内容と取り組み状況はどのようなになっているのか。

答弁 今年度見直しの年度来年度より新しい制度となる。生活上の安全安心・健康の確保のため、医療・介護予防・福祉サービス等、生活支援サービスが日常生活圏域で提供できるように体制作りを進める。在宅介護と施設介護を組み合わせ、地域での見守りや配食、介護予防等が重点となる。国の指示の具体的な部分が解つてから準備期間を経て25年度以降に取り組み事となっている。現在は、要介護にならないようにする事が必要経費を減らすことにつながるの考えから、介護を予防する事業として、健康づくりや生きがい対策等を行な

っている。

鹿島市暴力団排除条例制定について

質問一 鹿島市暴力団排除条例制定についての考え方は。

答弁 県の暴力団排除条例が、24年1月に施行されるが、警察による各市町に対する条例制定の説明会で、条例制定に向け県下挙げて取り組んでほしいとあつた。安心安全で生活できるという事は、市民の最大の関心事項。執行部・議員含め、市の生活すべてに責任のあるものが必要な措置をとる事は当然。県内市町足並みを揃えるべきという共通認識で、モデル案を参考に、3月議会上程に向けて準備中である。

結婚・婚活支援の推進について



中村一堯議員

質問一 鹿島市では30〜34歳の男性の未婚率は41.7%、女性では34.7%。男性では10人に4人が結婚していない状況、同じく女性では3人に1人が未婚です。20年前に比べると、未婚率が急激に増加しています。このまま未婚率が上昇していくと、人口減少が進み、経済活動が益々減速していきます。また、市民の皆さんとお話をしていると「孫の顔を早く見たかあ」という切ない声をおじいちゃんおばあちゃんからよく耳にします。伊万里市や武雄市と同じように、鹿島市でも結婚支援課を作れないか。

答弁 他の街の結婚支援課の状況を見ると、費用に対する効果が見えにくい。鹿島市では、ま

ず市内の結婚支援グループなどをサポートしていく。現在の時点では設置は考えていない。

鹿島市の財政について

質問一 鹿島市の予算は年間約130億円。今後、どのようにして歳入を増加して、歳出を削減するのか？また、予算の大部分を占める民生費・衛生費を抑えるにはどうするのか？

答弁 歳入を増やすために、定住人口を増加させ、税の徴収率を上げていく。歳出を削減するために、職員数の定数を2,500人まで削減し人件費を下げている。また、経常経費の伸び率がゼロなので歳出は削減できる。民生費・衛生費を下げるためには、市民の健康づくりを推進していく。

一般質問

鹿島駅周辺整備と
中心市街地再開発について



角田 一美 議員

質問一 鹿島駅周辺整備と中心市街地再開発について、まちなか懇話会で議論されているが、今後の取り組み方針と来年度予算への反映はどう考えているのか。

答弁 肥前鹿島駅は、本市の「玄関口」であり、「顔」でもあるため、今後のまちづくりにおいても必要不可欠である。平成二十七年まで、肥前鹿島駅及び駅前周辺整備に一定の目的を付けた。4段階に分け、具体的事業内容と目標年度を定め、事業に着手したい。駅舎改築についてはJR九州と十一月から協議を開始しているが、駅舎の規模について鹿島市から示す必要があり、まちなか懇話会等で意見を集約し、本

年度内に規模を決定し、トイレ改修事業はできれば平成二十四年度で先行し、でも実施したい。

早稲田大学付属研究所の誘致について

質問二 早稲田大学建築学科入江研究室では、鹿島市の町並み再生を研究し、鹿島の再生プランを提言していただいております。入江研究室とのつながりが深まっている。これを契機に官民一体となった早稲田大学付属研究所「まちづくり研究所」等の誘致ができないか。

答弁 数回にわたり入江教授自身の来訪や、学生の調査派遣など積極的に取り組んでもらっている。鹿島の研究室で学んだことが、授業の一環として単位修得ができるような実態のある研究所の誘致を来年度中には目途をつけたい。本年度内に「設立準備室」を設置したい。

国営諫早湾干拓事業開門調査の
実施に向けた動きについて



松尾 勝利 議員

質問一 佐賀県と長崎県では開門調査の認識が違う。国は両方に配慮してか、影響が一番少ない制限開門の方法でやろうとしている。これでは本当の有明海再生の方策が見いだせないと思う。市長の見解は。

答弁 市としては、開門の方法について独自の提言を行なってきたが、何も取り入れられなかった。大臣へも、鹿島市の漁業への影響や鹿島市と諫早市の関係、一次産業としての重要性など進言してきた。今後も言うべきことは、きちんと言つてゆく。



子育て対策について

質問二 ここ1、2年、0歳児の保育所入所人員が増えている。少子化の中でどのような要因があるのか。又、鹿島市の子育て支援センターの対応はどうされているのか。

答弁 核家族化が進み、子供の面倒をみる人がいない、安定的な収入を得るため、仕事を休めないなどの状況が原因と思われる。子育て支援センターでは相談される件数も増えており、各個人ごとに相談を受けている。又保護者同士の交流の場を提供し、子育ての不安や仲間づくりの支援を行なう、つどいの広場事業に新たに取り組む。

防災計画の見直しについて



水頭 喜弘 議員

質問一 平時において災害を想定した万全の体制を整えておくことが重要であると思います。地域防災計画については県の方でも見直しが進められているが、本市の見直し作業の進捗状況は。

答弁 来年2月に防災会議において計画の修正版がまとまる計画になっているので県の見直しに合わせ、整合性を取りながら県の修正に従い作業を進めて、防災会議に諮ると共に、議会にも報告するスケジュールを進めたい。

介護ボランティアポイント
制度の導入について

質問二 介護予防のため市町村が行う「地域支援事業」の二環として、介護

支援のボランティアを行った高齢者に対し換金できるポイントを与える制度で社会参加を促し介護予防につながると思えるが導入の考えは。

答弁 地域貢献を行いなから、自らも健康増進、介護予防に取り組むことにより、あわせて介護保険料の増加抑制の効果を期待する事業で、高齢化社会が進展する中で、介護支援関連のボランティアの充実、地域での見守りを重視することとなり地域でのボランティア活動の機運を高めるもので、今後重要な課題であると考えている。



一次産業の振興について



鹿島市第5次総合計画の推進について鹿島市資源の活用方策

松本末治議員

質問一 TPPと鹿島の特産品づくり。去る11月11日政府は、日本列島大震災とも言えるTPP交渉参加決定をした。今後の被害は計り知れない。そこで農林水産課として、より「安全安心」な物は「有機農産物」。将来に涉つて持続可能な農業を展開していくため、石油・化学肥料・農薬などできるだけ頼らない環境保全型・省資源型農業への取組で、「鹿島の特産品」づくりの考えは？

答弁 安全使用基準を厳守し、食に軸足を置いた取組で、魅力ある農業生産物をつくる為、有機栽培も一つの方策として今後推進が必要と考える。

質問二 多良岳広域農道が完成し、多良岳オレンジ海道」と名称が決定し「オレンジ海道を活かす会」が、J・A・太良町・鹿島市で組織された。この会の目的に荒廃農地解消対策も大きな課題（イノシシ対策）だと思われれます。そこでこの会を一つの「荒廃農地有効活用対策室」として、繁殖牛の放牧を数十頭年次計画を立て荒廃農地復元対策の先進地域になる取組が出来ないか。

答弁 目的は何をやるのかである。「誰がいつまで何をやる」かであり、市とJ・A・普及センター連携の連絡協議会はできている。だがやるかである。

議案第41号 反対討論

一般会計歳入歳出決算認定

松尾征子議員

市民を犠牲にして三億三四三九万七八六円の赤字。年度内に組まれた予算は年度内に消化することが望ましい。

市民のくらしは一次産業はもちろん商店街をはじめ落ち込みが甚しい。市単独での雇用なども要求して来たが受け入れてもらえなかった。県の雇用対策は短期間といえども一億六四〇〇万円で249

議案第41号 賛成討論

伊東茂議員

樋口市政初年度の決算審査であり市民の関心の高い中、審議が行なわれた。予算額に対する執行率は歳入99.4%、歳出96.3%、歳入歳出差引額4億1千万円の黒字決算となっている。

市内経済状況の厳しさから自主財源、市税の減少となり手放しでは喜べないが行財政改革の推進による歳出削減が現れている。緊急雇用創出事業を活用し地域、市民からの要望を取り入れ、きめ細かな事業展開は市民目線に立ち

議案第44号 反対討論

国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

松尾征子議員

所得200万円以下の世帯(国保加入世帯)が76%。このような状況の中で国保税があまりにも高い。低所得者層には幾重にも軽減措置がある。その部分に納められない世帯が多い事も問題。22年度億六五四〇万円の赤字を出している。この赤字は3年間にわたり値上げに取り組んだ結果で、市民の苦しい犠牲の上の結果だ。四七五一世帯の加入。一世帯二万円引き下げで四七五二万円。五千円の引き下げで二千四百万円もあれば引き下げが出来た。

滞納者には資格証明書が発行されている。病院へ行つても100%の医療費の支払い。税が払えないのに医療費の支払いは無理。国保税の引き下げ、資格証明書の発行を止めることを望んで反対するものです。

一般質問

討論

議案第46号 反対討論

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

松尾 征子 議員

75歳以上と65歳から74歳までの一定の障害のある人が対象に始まった制度。寝たきりであろうが、収入のない人も含めて75歳以上のすべての人から保険料が徴収される。子供などがサラリーマン家族の扶養で直接保険料を払っていない人から月額一万五千円の人には強制的に天引き。それ以外は直接払い。さらには保険がきく、医療費も制限される高齢者差別の制度。市民の不満は大きい。

民主政権は野党時代には廃案を求め、政権についた直後までは廃案にするといっていたがまったく手がついていない。私は導入前から導入はゆるされないと訴え続けておりますし、国へも廃案にするように要請も続けております。国の制度とはいえ高齢者を差別し、医療も充分受けられない様な制度ははやく廃案にすべきだという立場で反対をするものです。



決算審査特別委員会による現地調査

鹿島市議会 議会報告会

平成23年11月11日午後7時よりエイブルホールにおいて、23年度議会報告会を開催いたしました。

今回の議会報告会は、議会議員改選後初めての報告会の為、議員全員が参加し、1か所で開催しました。会場には、神奈川県綾瀬市議会議員をはじめ、諫早市議会議員、太良町議会議員、神崎市議会議員や市民約150名に参加いただきました。

今回の報告会は、報告会と、佐賀県最高情報統括監森本登志男氏によるまちづくり講演会の2部構成で開催しました。議会活動、特に委員会活動の紹介の後、会場からの質問やご意見を多数いただきました。今後の議会活動の参考にさせていただきます。

平成24年度は市内各地区で開催し、きめ細かく市民の皆様方のご意見をお伺いする報告会、また8月には、市議会議場を使った子供議会を予定しております。



行政視察報告

総務建設環境委員会

平成23年
10月3日～5日

●10月3日 早稲田大学入江教室

浜伝統的建造物群と新町商店街への路地を使った、観光客誘致と商店街活性化について勉強しました。

早稲田大学入江教室 早稲田大学理工学術院教授入江正之氏は、スペインのサグラダ・ファミリア等の建築で有名なアントニ・ガウディを研究されており、カタロニア地方の伝統文化、建造物の研究もされています。また、浜伝統的建造物群の研究をしていただき、新たな提言もなされています。

研究室には入江教授の奥様や大学院生等10数名の方々が、鹿島について研究されておられ、入江研究室とともに鹿島の将来を構築できると思いをもちました。



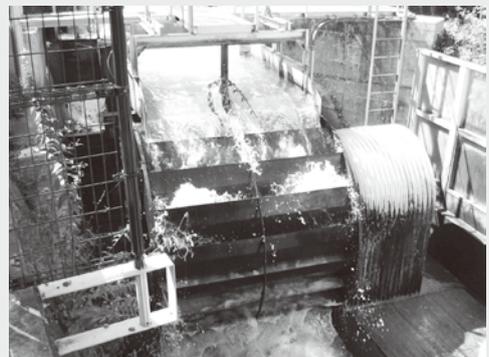
入江教授の新町路地裏の説明と委員

●10月4日 山梨県都留市 小水力発電の取り組み

都留市は山梨県東部に位置し、山々に囲まれた、自然豊かな地であります。

平成15年「都留市地域新エネルギービジョン」を策定され、太陽光発電、マイクロ水力発電、燃料電池等に取り組まれています。

都留市の市制施行50周年事業として、家中川を利用し、市役所に電力供給する木製下掛け水車方式の小水力発電所に市民参加型で実施することになったとの説明を受けました。鹿島市でも水路等使った発電への参考となりました。



元気君2号水車 最大発電19Kw/h

●10月5日 群馬県太田市 太陽光発電への取り組み

～電力の地産地消を目指して～

群馬県太田市は、群馬県東部にあります。太田市議会の白石さと子議長の挨拶の後、太陽光発電についての研修を行いました。

太田市はパルタウンでの太陽光発電設置型ニュータウン建設やメガソーラー発電の取り組みなど、自然エネルギーを使った発電の取り組みをされています。



パルタウンでの太陽光発電

委員長	福井	正
副委員長	光武	学
委員	中村	一堯
	稲富	雅和
	勝屋	弘貞
	徳村	博紀
	橋爪	敏
	橋川	宏彰



行政視察報告

文教厚生産業委員会

平成23年
10月5日～7日

視察地 神奈川県綾瀬市議会
東京都大田区大田市場
長野県伊那市議会
長野県下伊那郡

産業振興マスタープラン
地場産品の市場状況
地域福祉計画
社会福祉法人アンサンブル会

●綾瀬市議会（農商工連携の産業振興）

神奈川県中部に位置し厚木基地と高度な技術を備える工業が基幹産業の街である。

平成13年制定の総合計画の後期計画として農商工、各分野の大学教授、関係者、行政、市民を交え各分野の特色を活かす連携型マスタープランを平成23年策定。地域ブランド創出・連携したイベント開催・販売ネットワークなど産業交流都市を目指している。農地の保全と食をテーマとした未来の都市農業、アグリパーク構想は本市も参考にしたい。

●東京都中央卸売市場（地場産品市場調査）

早朝の活気あるセリを見学後、地場産青果物の近年に於ける出荷量、販売額等の推移状況と仲買人による消費者が求めるみかん、イチゴの技術向上、イベント会場でのPR活動や販売促進事業の指導を受ける。



●伊那市議会（障がい者プラン）

「皆で支えあい障がい者が主体的に自己表現の出来る地域社会を目指す」ことを基本理念に5ヶ年計画で地域福祉計画、障がい者プランを策定。環境の充実・就労、相談支援体制の充実・社会参加を促進する。各項目に目標値を定め早期実現を目指している。

●社会福祉法人アンサンブル（障がい者自立支援施設）

中央アルプスの山裾の自然豊かな環境の下、「町の中で生き、仲間と共に、やりがいのある仕事と、居住と経済的な自立」がノーマライゼーション（社会福祉政策）理念と考え社会参加・生活の場として自家農園での有機野菜の生産、自家製クッキー提供の喫茶店業務、堆肥作りや薪作りの作業と販売など家庭からの自立を目指している。通所授産施設・多機能型施設に暮らす80人の皆さんは元気に働き、生き生きと生活していた。

委員長 松本 末治
副委員長 伊東 茂
委員 竹下 勇
角田 一美
松尾 勝利
水頭 喜弘
松尾 征子
中西 裕司



行政視察報告

議会運営委員会

平成23年
11月16日～18日

視察地 北海道登別市議会 ICT活用、議会へのパソコン導入
北海道福島町議会 議会評価システム

●登別市議会

①議員へのパソコン貸与の経緯

議会改革を進める中、平成12年「IT推進に関する特別委員会」が設置される。その後、議会ホームページ開設、パソコンを各会派へ貸与する。平成14年登別市がペーパーレス化を進め議会資料、例規集がCD化され議員全員にパソコン貸与となり議場への持ち込みも許可される。

②ICT(情報通信技術)活用と開かれた議会

以後、開かれた議会を推進し、会議の生中継・インターネット中継が行なわれる。さらにICTを活用し、質問のメール通告、本会議及び委員会のインターネット中継、テレビ・モニターを使用した質疑の展開へと進んでいる。議会と市民との意見交換会「議会フォーラム」を毎年、市内4ヶ所で四日間開催されている。本市の更なるICT活用と議会改革の研究課題を見出せた。

●福島町議会

【議会白書】

横綱千代の富士を生んだ相撲の町、青函トンネルの海峡の町福島町。人口5120人の静かな町が全国の地方議会から注目を浴びている。議会基本条例を平成21年制定、議員として責任と自覚、負託に応えるため「政策の提言・全ての会議、資料の公開・討議する議会」を目指し議会白書を毎年公表している。200ページにも及ぶ白書には議会と議員の活動内容・住民参画状況が明記され評価が行なわれている。議員へ向けては厳しい意見もあり議会への監視度の高さを実感した。

委員長 徳村 博紀
副委員長 伊東 茂
委員 松尾 勝利
松本 末治
福井 正
橋爪 敏



金額単位：円

議長交際費
公表します、
議長交際費。

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰								
見舞い								
祝儀	1	3,000	1	3,000			2	6,000
会費	3	9,000	4	17,000	5	31,000	12	57,000
接遇								
その他					8	25,200	8	25,200
合計	4	12,000	5	20,000	13	56,200	22	88,200



議会あれこれ

(平成23年10月～12月)

【10月】

- 3日 総務建設環境委員会行政視察(～5日迄)
- 5日 文教厚生産業委員会行政視察(～7日迄)
- 6日 議会だより編集委員会
- 11日 佐賀県西部広域環境組合議会臨時議会
議会だより編集委員会
駅前会とまちなか活性化特別委員会との意見交換会
- 12日 農商工連携推進特別委員会
全員協議会
議会報告会・議場開放プロジェクト
- 13日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動
- 17日 佐賀県市議会議長会第202回正副議長会
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会・
国道207号改良促進期成同盟会合同要望活動
- 21日 第64回県体記念祭議員野球大会
- 24日 後期高齢者組合議会代表者会・地区会議
議案勉強会
- 25日 佐賀県西部広域環境組合議会第2回定例会
- 26日 文教厚生産業委員と商工会議所との意見交換会
- 28日 議会運営委員会
全員協議会
まちなか活性化特別委員協議会
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会
要望活動
- 31日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会

【11月】

- 7日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会
(現地調査)
- 8日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会
- 9日 全員協議会
一般会計・特別会計決算審査特別委員会

- 11日 平成23年度鹿島市議会・議会報告会
・記念講演会
- 14日 国道498号整備促進期成会県知事要望
- 15日 議会運営委員会
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望
- 16日 議会運営委員会行政視察 (～18日まで)
- 22日 農商工連携推進特別委員協議会
- 24日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
まちなか活性化特別委員協議会
- 30日 全員協議会
11月臨時会
議会運営委員会
農商工連携推進特別委員協議会

【12月】

- 2日 市議会12月定例会開会
まちなか活性化特別委員協議会
- 5日 1期生議員研修会
- 8日 定例会議案審議
- 9日 定例会議案審議
- 15日 定例会一般質問
- 16日 定例会一般質問
文教厚生産業委員協議会
議会運営委員会
全員協議会
- 19日 定例会一般質問
- 20日 定例会一般質問
まちなか活性化特別委員協議会
- 22日 12月定例会閉会
全員協議会
- 27日 議会だより編集委員会

編集後記

新年明けましておめでとうござい
ます。

昨年を振り返りますと、3月の
「東日本大震災」をはじめ、和歌山
の大型台風被害等、想定外の災害を
経験した一年でした。

幸い鹿島では大きな災害もなく、
富久千代酒造の「鍋島大吟醸」が世
界最大級のワイン品評会において、
日本酒部門で最高賞の「チャンピオ
ン・サケ」を受賞されたことは鹿島
市にとって大変うれしいニュースで
した。

今年も国においても地方において
も大きな変革の年になると予測され
ております。議会においても、議会
報告会を地区毎に開催するなど、よ
り多くの市民の皆様からご意見・ご
提言をいただき負託に応えてまいり
たいと思います。

新しい年を迎えて皆様のご健康と
ご多幸を祈念致します。

【編集委員】

- | | |
|------|------------|
| 委員長 | 光 武 学 |
| 副委員長 | 角 田 一 美 |
| 委員 | 中 村 一 亮 |
| 委員 | 橋 爪 敏 |
| 顧問 | 橋川 宏彰(副議長) |

※この議会だよりは、全て原稿提出者
の責任により編集されています。